

令和5年度取組状況

ものづくり工学科 医療福祉工学コース准教授 星 善光

取 組 状 況	
教育	1. 講義内容や課題を時勢に合わせて更新 対面授業を基本としつつ、オンライン環境での授業にも対応できるように課題や資料の形式を改良した。学生が積極的に課題へ取り組めるように身近な事柄や視覚的に面白い内容に課題に取り入れた。また社会の変化に合わせて課題を修正した。学生の評価は以前と比較して上昇した。 2. 授業後アンケートの実施と宿題の充実 全ての担当授業において、授業終了時に難易度や質問に関する小アンケートを実施した。結果を翌週の授業にフィードバックすることで学生の興味を向上させることができた。
研究	
社会貢献	1. OPC講座の開催 「高齢者・障害者の生活を支える新しい技術」の基礎編及び応用編を開催した。二講座とも参加者からの評価は好評で、高齢者・障害者に関わる支援技術についての基礎知識や研究の重要性を広めることができた。参加者同士のディスカッションも情報交換の場として好評であった。 2. 出前授業の実施 題目を「身近なデータをコンピュータで解析してみよう」として中学校での出前授業を実施した。東京の気温、バーコードなど、身の回りにある数値情報をコンピュータで簡単な解析をすることで、データを調べる面白さを体験してもらった。